

南陽っ子だより ⑤

前回・前々回と2回にわたり、「アンコンシャス・バイアス」(無自覚の偏見や固定概念)・「マイクロアグレッション」(無意識の差別的な言動)の話をしていただきました。

このようなことを紹介している私自身も、思い当たることが数多くあります。それだけ、自然なことであり、固定概念として私たちの生活の中に浸透していることが多いのだと思います。

しかし、私たちの誰もが、加害者にも被害者にもなり得るということ、これは差別の始まりだということ、無意識に人を傷つけていることを強く認識すること、その行動に「気づく」ことが重要です。

日本ではまだまだ「マイクロアグレッション」という言葉自体が一般的ではないということも問題でしょう。

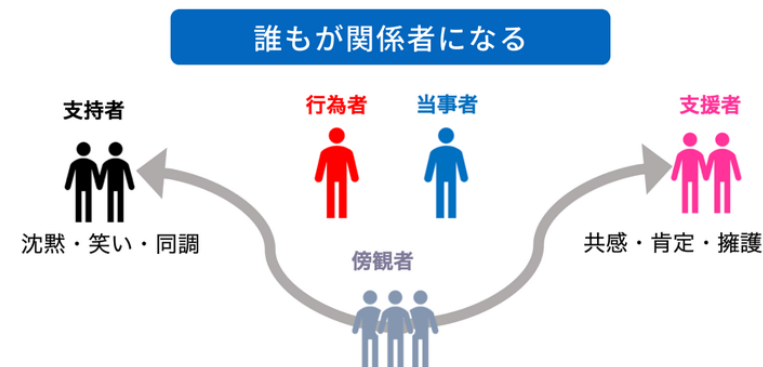
これから先、マイクロアグレッションの存在を知り、意識することが、様々な差別をなくし、誰もが幸せに暮らすための第一歩になるものと考えられます。

※ まずは気づくこと

「気づかない」とどうなる?	「気づく」とどうなる?
繰り返してしまう	繰り返さない
悪影響がわからない	やってもすぐに気づける
修正できない	修正できる
謝らない	謝れる
行為に加担する	支援者になれる

マイクロアグレッションの対処法

- ① 「誰もが関係者になる」ことを理解し、自分ごととして考える
- ② 「支持者」となるか、「支援者」となるか



「行為者」と「当事者」の周りの「傍観者」がとるべき行動を考えましょう。

「傍観者」→「支援者」…当事者への共感・肯定・擁護の立場を取れる。

「傍観者」→「支持者」…行為者の支持をしてしまうこと
沈黙・笑い・同調→共犯者となる。

そして何より、自分自身が「行為者」や「支持者」にならないようにするために最も重要なポイントは、誰であろうと他者を尊重し、相手に対する想像力と共感力を持って接すること、そして相手の話に心から耳を傾けることです。

- ① 相手を尊重していますか?
- ② 相手の立場や状況を想像していますか?
- ③ 相手の話に耳を傾け共感していますか?

文責:田崎勇